

NSGグループの歴史

2018年、NSGグループは100周年を迎えました。1918年の創立以来、NSGグループは絶えず進化を続けてきました。400年の歴史を持つ住友グループの事業精神を共有しながら、建築用、自動車用、高性能ガラスの各分野において存在感を放ち、世界市場で事業を展開しています。



二島工場(福岡県)

1920

二島工場(福岡県)で板ガラスの生産を開始

1920-1940年代

国内ガラス需要の伸びにともない事業を拡大

- 二島工場の生産能力を増強(1920年代)
- 四日市工場(現四日市事業所(三重県))を開設(1936)

1950-1960年代

経済発展の中で生産規模・能力を拡大し、1950年代には自動車用ガラス事業に本格参入

- 舞鶴工場(現舞鶴事業所(京都府))を開設(1952)



舞鶴事業所(京都府)

- 千葉工場(現千葉事業所)を開設(1964)

1918

大阪で日米板硝子株式会社を設立

1910

1920

1930

1931

社名を日本板硝子株式会社に変更

1940

1950

1950

東京、大阪他国内7証券取引所に株式上市

1965

アジア初となるフロート方式によるガラス製造を開始



アジア初のフロートガラス

1960

1970-1980年代

自動車用ガラス事業の成長と建築用ガラス事業および自動車用ガラス事業のグローバル化

- 日本安全硝子株式会社を吸収合併し、川崎工場および京都工場（現京都事業所）を開設（1970）
- マレーシアに初の海外投資（1971）
- メキシコに自動車用ガラス製造の合併会社を設立（1975）
- 米国に自動車用ガラス製造の合併会社を設立（1986）

1970-2000年代

新商品と新技術の開発に注力。海外投資により高性能ガラスの礎を築く

- セルフオック®開発（1968）



中核技術であり続けるセルフオック®

- 超薄板ガラス(UFFTM:ULTRA FINE FLAT GLASS)の生産開始（1978）
- 硝子繊維製品の販売を開始（1979）
- 日本無機株式会社の子会社化によりバッテリーセパレーター事業を拡大（2001）

1979

創立60周年を記念し（公財）日本板硝子材料工学助成会を設立

1990-2000年代

アジアでの事業拡大

- 自動車用ガラスの合併会社を中国に設立（1995）
- 建築用ガラスの合併会社をベトナムに設立（1995）
- ベトナムに2番目の建築用ガラスの合併会社を設立（2007）



ベトナムフロートガラス社

1990-2000年代

ピルキントン社との連携強化

- ピルキントン社子会社のLOF社の株式の20%を取得（1990）
- ピルキントン社に出資（2000）
- ピルキントン社、持分法適用会社になる（2001）



ピルキントンレイザム(英国)事業所

2004

本店所在地を大阪から東京に移転

2006～

ピルキントン社の完全子会社化にともない、建築用ガラスおよび自動車用ガラス事業を本格的にグローバル化。NSGグループ全体として、世界各地に主要な事業拠点を持ち、100カ国以上で製品を販売。

（2019年3月31日現在）

2008-2010年代

委員会設置会社（現指名委員会等設置会社）へ移行（2008）

- NSGグループコーポレートガバナンス・ガイドラインを制定（2015）

2009

NSGグループサステナビリティポリシー公表、NSGグループサステナビリティ委員会設立

2012

国連グローバルコンパクトに参加

2014

長期戦略ビジョンと中期経営計画（MTP）を発表

2015

NSGグループ倫理規範を改定

2017

2018年度から2020年度までの3カ年の中期経営計画（MTP）フェーズ2がスタート

2018

創立100周年

新経営指針「Our Vision」を策定

株式情報

(2019年3月31日現在)

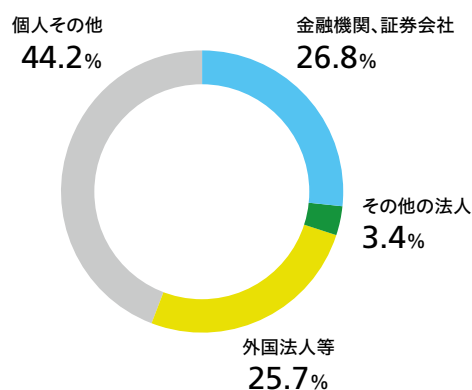
株式総数	発行可能株式総数:177,500,000株 発行済株式総数:90,593,399株	上場証券取引所	東京(証券コード:5202)
A種類株式 (2019年6月30日現在)	発行可能株式総数:40,000株 発行済株式総数:30,000株	監査法人	EY新日本有限監査法人
株主数	普通株式:55,359名 A種類株式:3名	株主名簿管理人 事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

大株主の状況

株主名	持株数(普通株式)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,218,200株	6.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,284,200株	4.72
JUNIPER	2,233,000株	2.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,881,100株	2.07
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS – UNITED KINGDOM	1,834,400株	2.02
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140042	1,558,853株	1.72
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,416,203株	1.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	1,263,800株	1.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	1,170,200株	1.29
日本板硝子取引先持株会	1,059,678株	1.16

(注)上記記載の持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を控除して計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

所有者別持株比率



	2015年 3月末	2016年 3月末	2017年 3月末	2018年 3月末	2019年 3月末
金融機関、証券会社	23.2%	23.3%	22.5%	25.2%	26.8%
その他の法人	4.5%	5.0%	4.8%	4.4%	3.4%
外国法人等	20.3%	15.3%	16.9%	22.0%	25.7%
個人その他	51.9%	56.4%	55.8%	48.4%	44.2%

会社情報

(2019年3月31日現在)

商号	日本板硝子株式会社
本店	〒108-6321 東京都港区三田三丁目5番27号(住友不動産三田ツインビル西館) TEL:03-5443-9500
設立	1918年11月22日
従業員数(連結)	26,741名
資本金	116,588百万円

WEBサイトのご案内

企業情報トップ



<http://www.nsg.co.jp/>

投資家情報トップ



<http://www.nsg.co.jp/Investors/>

サステナビリティトップ



<http://www.nsg.co.jp/Sustainability/>

編集方針

NSGグループは、2018年より「統合報告書」を発行しています。「統合報告書2019」は、当社の長期戦略ビジョンである「VAガラスカンパニーへの変容・変革」に基づき、社会的課題に対応する独自技術や強みをコアとしたガラス製品(VA製品)やサービスを伸ばす、持続的な成長に向けた取り組みについて株主をはじめとするステークホルダーの皆様にお伝えするものです。皆様からのご要望を反映し、統合報告書の利便性の向上として、昨年は別冊としたサステナビリティ・データブックは本体に統合しました。今後も読者様のご意見を反映しながら統合報告書として更なる進化を図ってまいります。

見直しに関する注意事項

当資料の業績見直しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提のもとにおいて、実際の業績は見直しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市況、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

その他の情報

本報告書に加え、NSGグループは当社グループに関する多くの情報を株主・投資家の皆様に提供するため、定期的に冊子を発行しています。当社グループについての詳細情報はウェブサイトをご覧ください。

www.nsg.co.jp